

# 新型コロナ対策の抜本的強化を求める

都知事選最中に開会された荒川区議会6月会議で共産党を代表して質問を行いました。その内容などお知らせします。みなさんのご意見・ご要望などお寄せください。

## 「くらしと営業への支援強化を求める」

新型コロナ感染拡大の影響で解雇や雇止めなど雇用の悪化、コロナ関連倒産も深刻化しています。

そのため、新型コロナ融資の無利子化や家賃など固定費への支援、子育て世帯への経済給付など区として追加支援を具体化し実施すること。憲法25条生存権を保障する生活保護制度についてホームページの改善など広く周知し、新型コロナ関連の生活支援に位置づけるなど求めました。

区は、追加支援には答えませんでした。生活保護をコロナ関連支援に入れるなど一定の改善を行いました。

## 保健所など体制の抜本強化を

感染症対策を担う保健所は、「何度電話してもつながらなかった」などパンク状態でした。全国的には、保健所の統



本会議で代表質問を行う  
横山幸次区議会議員  
(飛沫感染防止のプラスチック板を設置)

廃合、削減が進められ、都内でも1994年に71カ所あった保健所が現在31カ所です。荒川区もかつて西尾久にあった保健相談所(分室的役割)が廃止されました。

今後のコロナ対策の抜本的強化のため、保健所の保健師はじめ専門職員を増員するとともに、保健相談所の開設なども検討すること。医療介護従事者、保育士、教師などPCR検査を区の負担で実施することなども求めました。



## 虐待防止へ家庭訪問型支援を

コロナ感染防止のため乳幼児の4か月児健診・1歳6か月児3歳児健診などが延期されています。

また、健診は、母子の健康、発達診断だけでなく、育児相談、困り事への支援の場になってきました。感染防止によって自宅で長期間一緒に過ごすことで児童虐待やDVなどの増加も問題になっていきます。

子ども家庭総合センター(児童相談所 下写真)も開設したもとで妊娠、出産、育児まで切れ目のない支援、虐待未然防止のため家庭訪問型支援(アウトリーチ)の拡充と必要な専門職の増員など体制強化を求めました。

区は、その方向で支援を強化することを約束しました。(裏面に他の質問要旨も掲載)

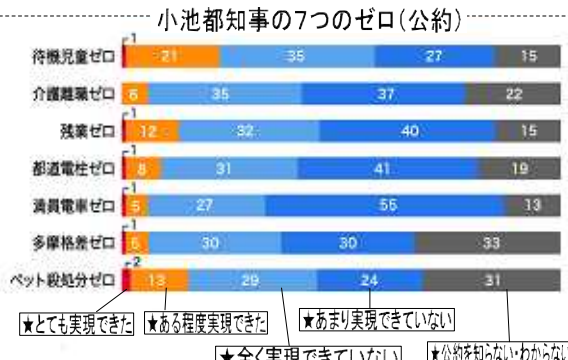


## 都知事選の結果とコロナ禍での私達のくらしを考える

NHKは、6月21日〜24日に18歳以上の都民1万人を対象にインターネットでのアンケート調査を実施(詳細はネットで)。結果は、興味深いものです。

**小池都知事の公約は「実現できていない」65.7割**

都知事選は、現職の小池氏が当選、4年間前の公約は、どうなったのでしょうか。「あまり」も含めた「実現できていない」は、介護離職ゼロの72%、待機児童ゼロも62%などすべて過半数。選挙ではテレビ討論もなく、争点にはなりませんでしたが、小池知事が持ち合わせていないもの「弱者への共感」が6割以上。小池氏の資質で持ち合わせていないものの第一が「弱者への共感」。



「感」62%、将来を描く力54%など。持ち合わせているのは、発信力82%、リーダーシップ72%など。

## 西日暮里駅前再開発の大ホール建設(190億円) 区が「中止」を区議会で表明しました…

日本共産党区議団は、西日暮里駅周辺の再開発について、区のみちづくりの優先順位と税の使い方の両面から見直しを繰り返して求めてきました。

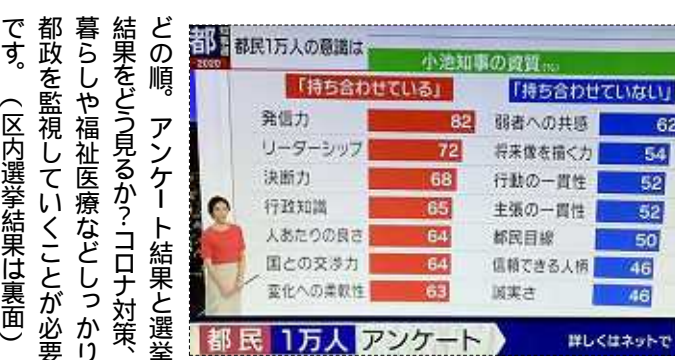
6月24日の区議会本会議で自民党から、「新型コロナによる地域経済や区の財政状況を考えると整備費190億円を考えると断念したほうがよい」と質問。区は「検討したがさらなる削減も困難。中止せざるを得ない」とし、都市基盤整備や賑



西日暮里再開発計画  
総事業費1,000億円  
地上47階  
1,000戸のマンション  
3万㎡の商業床  
「断念」した大ホール…など

西日暮里駅前再開発総事業費に占める財源割合(予算委員会の答弁から)

補助金(国、都、区など)	200億円
公共施設管理者負担金(道路、駅前広場など区負担)	50億円
荒川区の大ホール建設(大ホール1500人、小ホール300~400人)	190億円 内30億円は道灌中跡地など区の権利分
保留床の処分金	?
その他	?
総事業費	1000億円

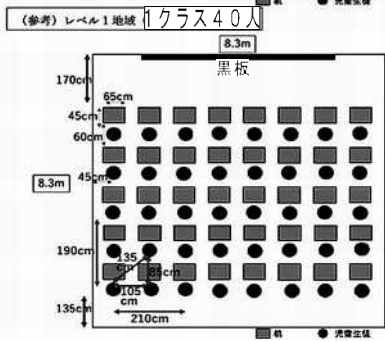
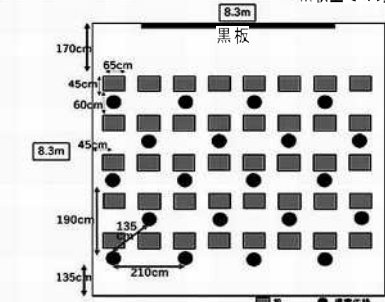


日本共産党荒川区議会議員 **横山幸次** 区政報告 ニュース

2020年 7月号外 発行 日本共産党荒川区議会区議団  
区議団控室 TEL 3802-4627 FAX 3806-9246  
E-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp  
町屋相談室 荒川区町屋5-3-5 3895-0504  
E-mail: kouji.office@gmail.com

# 感染防止と学びの保障のため少人数学級を

(参考) レベル2・3地域 クラス20人 ※教室での身体的距離



出典：「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」『学校の新しい生活様式』(文部科学省より)

文部科学省は、「学校の新しい生活様式」で「ゼロ密」をめざすことを提唱。しかし現在の40人学級編制では、「身体的距離の確保」は事実上不可能です(左図参照)。最初の分散登校では、「3密」を避けるため20人以下に分けて授業を実施。全国的な分散登校で「一人一人に言葉がかけやすく、勉強もじっくり見られる」20人がスタンダードになれば指導の効率が上がる。など、少人数学級の教育効果を再認識したとの声が多く聞かれます。また全国知事会、市長会、町村会の3団体も「少人数学級を可能とする教員の確保」を提言しています。

区として感染予防対策と学びにとつて少人数学級編制が必要との認識で今後の教育環境整備を進めることを求めました。当面臨時講師、学習指導員やスクールカウンセラーの増員が必要です。小学校低学年などでは、最低限複数担任を確保する必要があります。都立病院などの独法化に反対すること、区内医療機関への支援、保育園の面積、保育士配置基準の改善、保育園休園中の職員賃金全額支払い、実態調査に基づく改善、公契約条例制定を、複合災害対策として実施します。

## 他の質問項目

任意や学習指導員などを優先して対応すべきです。30人以上の学級についても優先的に学習支援員などに配置するよう求めました。区は、少人数学級編制の必要性について答えず、感染防止対策の徹底や現状での習熟度学習などで少人数指導を行っているなどと答弁しました。やはり、感染症から子どもを守ることもに学びを保障するために少人数学級編成に大きく舵を切り替えるときではないでしょうか。



## 東京都知事選挙の区内結果について

	荒川区		東京都	
	今回 (2020.7.5)	前回 (2016.7.31)	今回 (2020.7.5)	前回 (2016.7.31)
有権者数	168,759	166,054	11,290,229	11,083,304
投票率	54.45%	59.69%	55.00%	59.73%
宇都宮 けんじ 無・新 (共・立・社支援)	11,199 12.35%	鳥越 俊太郎 18,668 19.08%	844,151 13.76%	鳥越 俊太郎 1,346,103 20.56%
小池 ゆりこ 無・現	55,892 61.63%	44,480 増田ひろや(自公) 27,341 73.41%	3,661,371 59.70%	2,912,628 増田ひろや 1,793,453 71.89%
山本 太郎 れいわ・新	9,616 10.60%		657,277 10.72%	
小野 たいすけ 維・新	8,488 9.36%		612,530 9.99%	
その他	5,493	7,334	357,349	494,178
合計	90,688	97,823	6,132,678	6,546,362

(無効票 1,193) (無効票 1,298)

## 国の持続化給付金申請手続きについて…申請サポートセンターで入力してくれます

サポート会場 荒川区荒川2-1-5セントラルビル7F  
電話予約が必要です(コールセンター番号は全国共通問合せ番号でつながりにくいようです)。予約は、下記の か にかけてください。  
電話予約窓口(オペレーター対応)  
0570-077-866 受付は9時から18時  
受付専用ダイヤル(自動ガイダンス)  
0120-835-130 (24時間対応)  
自動音声に従ってプッシュボタンを押します。  
問合せに必要な荒川会場コードは 1338  
受付番号を聞いて予約した時間に行ってください



(当日の注意事項)  
○会場に入れるのは申請者1人 ○必ずマスク着用  
○ボールペン持参 ○当日検温を(37.5度以上は入場不可)  
○入場時にアルコール手指消毒 ○確定申告書・売上台帳・通帳の写し・免許証等本人確認をコピーして持参 ○申請補助シートをダウンロードして必要な情報をあらかじめ記入して当日持参  
事前に荒川区役所6階の中小企業等相談窓口で中小企業診断士等のアドバイスをうけ、申請の予約をする方法もあります。10時~16時 問合せ03-3802-3640 まで

九州地方を襲った豪雨は、多くの尊い命を奪い、築き上げてきた暮らしと地域を一瞬にして破壊しました。日本が災害大国であることをまたしても思い知らされる事態です。しかし今回は、これまでと違いコロナ感染拡大の中で豪雨という複合災害になります。避難所も定員が半分かくらいに減る計算になり、新たな対応が求められています。(下写真)。  
荒川区の場合、避難所の増設自体が困難です。在宅避難や親戚や知り合いの家に避難といいますが、



そうならない方も多いはずですが、豪雨災害で甚大な被害！  
避難所の改善は緊急課題！  
川区でもコロナ対策と同時に複合災害対策の準備を並行してすすめることが急がれます。(横山幸次)

横山区議事務所 定例法律相談  
毎月第1月曜・午後6時~8時  
横山幸次区議事務所  
今回は、9月7日の月曜日です。  
お急ぎの方は、ご連絡下さい。生活相談は随時行っています。お気軽にご相談ください。

日本共産党町屋地域生活相談センター (横山幸次区議事務所)  
荒川区町屋5-3-5 TEL・FAX 3895-0504 M-F: kouji.office@gmail.com